

今、私たちになにができるか～環境防災科生徒が考えたこと～
(提出してもらった内容を 14 の項目に整理しました)

みなさんが考えたこと	先生たちからの補足・アドバイス
<p>1 自助 (感染予防／非常持ち出し袋の確認／家具固定／火災への備え／避難経路・避難場所・ハザードマップの確認／南海トラフ巨大地震に備える／健康な体づくり)</p> <p>2 知る (コロナの正確な情報／被災地のいま／災害やボランティアに関する知識／被災者の気持ち／語り継ぐために過去の災害を知る)</p> <p>3 身近な人と考える (防災全般／今避難所に行くとしたら／デマを拡散させない／過去の災害を風化させない／助け合い／離れて暮らす家族に電話)</p> <p>4 募金 (今できること: ネット募金、クラウドファンディング、協力者をつのる、支援先を調べる)／今後できること: 校内募金、地域との連携)</p> <p>5 オンラインボランティア (募集しているサイトを探す)</p> <p>6 リサイクル (ベルマーク／ペットボトル／アルミ缶／CD／本／食器)</p> <p>7 購入支援 (コロナの影響で売れなくなっているものや、被災地の特産品を購入)</p> <p>8 マスクなどの支援 (被災地、介護施設、医療機関などに送る／簡単な作り方をネットで紹介する)</p> <p>9 メッセージ作成 (避難所や仮設住宅、孤立しがちな高齢者に手紙やメッセージを送る／応援メッセージや動画、歌、千羽鶴などを送る／ラジオ局などを通して応援メッセージを流す)</p> <p>10 みんなで もしくは 個人で 作品作り (モニュメント／笑顔の写真を合わせてモザイクアート／しおり(募金してくれる方へのお礼)／環境防災科公式ゆるキャラ／特産品を用いたおすすめレシピ)</p> <p>11 個の繋がり (これまで繋がってきた学校や個人の方、新しく SNS で繋がった方などとの交流を継続し、ニーズを把握しシェアする)</p> <p>12 訪問活動 (<u>感染拡大が終息した後</u>・・・地域の方を訪問してお話したり、家事や家具固定などの手伝いをしたりなど)</p> <p>13 発信 (<u>防災対策</u>／被災地の現状／コロナ対応: 発信方法としては舞子高校公式 HP、SNS、ロコミなど)</p> <p>14 その他 (他団体や組織(行政やメディア)との協力)</p>	<p>◎「発信」したい人は、以下の 3 点を心に留めてください。</p> <p>(1) <u>まずは学び、正しい知識・技能を身に付けましょう。</u>誤った情報を拡散させないためです。</p> <p>(2) SNS を利用する時は、<u>個人情報に十分な配慮が必要です。</u>親しい人であっても、写真・名前・考えなどを、断りなく載せてはいけません。</p> <p>(3) 学校 HP／ブログで、生徒の活動を紹介することができます。(次項参照)。興味のある人は先生に相談して下さい。</p> <p>◎「<u>災害に備えて今何をすべきか</u>」について、多くの生徒がよく考えて意見をくれたので、舞子高校ホームページにアップします。</p> <p>◎「<u>メッセージの作成</u>」は、送り先の個人情報保護や、仲介して下さる団体・組織のご都合を考慮する必要があります。<u>今はまず身近な人、離れて暮らす家族や友人へのメッセージを最優先しましょう。</u></p> <p>*考えるヒントとして以下のサイトを紹介します。(たくさんあるうちのごく一部です)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備えとう? 神戸防災ポータルサイト ・WHO 新型コロナウイルス 一般向け特設ページ ・NPO 法人プラス・アーツ ・国土地理院 防災・災害対応 ・いのちを守るマナー新聞(メッセージ鯉のぼりをダウンロードできます) ・CODE(海外災害援助市民センター) Facebook ・震災がつなぐ全国ネットワーク ブログ ・本で寄付する(チャリボン) ・食べて応援!学校給食キャンペーン ・余っているマスクを介護施設に届けよう ・ホームレス支援全国ネットワーク(マスク寄付) ・神戸市による物資提供のお願い

- Point!
- ①ひとりひとりの得意技を活かす。無理せず、自分のペースで取り組む。
 - ②他人がやっていること知る。共感したら、真似してみる。
 - ③「自分は何もできない、無力だ」と思わない。あなたが無事であることが、社会貢献そのもの。